

◆ パレード、寺社特別拝観めぐりなど、推進協議会も毎年参加 ◆

「第55回 鎌倉まつり ―世界遺産登録をめざして―」開催

1959年から続く鎌倉の春を告げるお祭り「第55回 鎌倉まつり―世界遺産登録をめざして」が4月14日(日)から21日(日)にかけて開催されました。

初日を飾るパレードは強風にもかかわらず、音楽隊やお神輿を見ようと多くの人々が葉桜になった若宮大路に集まりました。演奏やお囃子、元気に踊る子どもたちがパレードを盛り上げる中、『みんなでつくる世界遺

産のまち鎌倉』ののぼりを掲げ当推進協議会も参加。

外国の大使館の方々や、鎌倉学を学ぶ鎌倉高校の生徒さんたちが応援に駆け付け、一緒に沿道の声援に添えてくれました。

鎌倉駅東口と鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉)の前では、当推進協議会メンバーの手で「武家の古都・鎌倉」MAPとバッジの配布が行われ、訪れた多くの観光客の方々に大変ご好評いただきました。

寺社特別拝観めぐり

今年も、世界遺産をめぐる寺社特別拝観めぐり(講師:内海恒雄広報部会長)を開催。寺社の在り方に配慮した「拝観の心得」を守り、より望ましい特別拝観を実施して、毎年好評です。

寿福寺では、公開されていない江戸時代の鎌倉五山では唯一の仏殿で、篋釈迦で知られる乾漆で珍しい本尊の釈迦如来像や両脇の文殊・普賢菩薩像、鎌倉では最古の達磨大師像、開山の明庵栄西像、鶴岡八幡宮の巨大な仁王像などを特別拝観しました。浄光明寺では、公開されていない嘉元四年(1306)没の多宝寺長老覚賢和尚の大きくて立派な五輪塔の墓を特別拝観しました。円覚寺では、公開されていない正統院で、禅宗様建築では日本を代表する国宝の舍利殿に仏牙舍利(釈迦の歯)を納めた厨子や聖観音菩薩像・地藏菩薩像、これも公開されない白雲庵の珍しい宝冠をつけた釈迦如来像や開山の東明慧日像と、帰源院の開山仏恵禅師像や夏目漱石の手紙などを特別拝観しました。

覚園寺では、立ち入りできない千躰地藏堂に上が

らせていただき、病気になったら地藏菩薩像を一躰お借りして、治ったら地藏菩薩像を一躰彫って納めるという庶民信仰をしのばせる659躰もの小地藏菩薩像を特別拝観しました。永福寺跡では、頼朝建立の大寺院跡が発掘調査で確認され、阿弥陀堂跡・二階堂跡・薬師堂跡とそれを結ぶ複廊の基壇復元が行われましたので、鎌倉市の発掘調査や整備を進めている福田誠さんに案内・解説していただきました。瑞泉寺では、立ち入りできない仏殿に入らせていただき、本尊の釈迦如来像、徳川光圀寄進の千手観音菩薩像や夢窓国師像、五山僧侶等の漢詩の詩板などを特別拝観しました。建長寺では、公開されていない山門の上で釈迦如来像・十六羅漢像・五百羅漢像等を、また、普段立ち入りできない禅居院の本堂で聖観音菩薩像・大鑑禅師像・摩利支天像等を特別拝観しました。



円覚寺境内

◎今回の日程は次の通り。特別拝観は太字で示しています。

- 4月15日 **寿福寺**(総門・**仏殿**＝釈迦三尊像・源実朝像など)
―**浄光明寺**(**仏殿**・阿弥陀三尊像・綱引地藏像・冷泉為相墓・**覚賢和尚墓**)
- 4月16日 **円覚寺**(山門・**仏殿**・選仏場・**正統院**＝舍利殿・方丈・**白雲庵**・**帰源院**)
- 4月17日 **高德院**(大仏・観月堂・庭園) ― **大仏切通**―**北条氏常盤亭跡**
- 4月18日 **覚園寺**(愛染堂＝愛染明王像・薬師堂＝薬師三尊像・**千躰地藏堂**＝千躰地藏・地藏堂＝黒地藏像)
―**永福寺跡**―**瑞泉寺**(**仏殿**＝釈迦如来像・地藏堂＝どこも(苦)地藏像・庭園)
- 4月19日 **建長寺**(**山門**＝釈迦如来像・鐘楼・**仏殿**・法堂・唐門・方丈・庭園・総門・**禅居院**＝聖観音像)